

(別記様式)

令和6年度 府立中丹支援学校 学校経営計画（スクールのマネジメントプラン）（**計画段階**・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>学校教育目標 ～いどむ つながる かがやく～</p> <ul style="list-style-type: none">主体的に学ぶことも含め、未来に向かって挑戦してほしいいろいろな人とともに歩んでほしい幸福な生き方をつくりだすことで自分らしい輝きを増してほしい <p>このような児童生徒を育てるために、小・中・高の系統性を持たせた指導にあたる。</p> <p>小学部では基礎となる力を身に付ける「基礎・意欲」を大切に。</p> <p>中学部では身に付けた力を広げる、深める「発展・可能性」の段階へ。</p> <p>高等部では自立や社会参加に必要な力へと高める「統合・個性」へと発展させていく。</p>	<ul style="list-style-type: none">衛生委員会とも連携を図り、働き方についてのアンケートから本校の現状を把握できた。今後は「働きがいのある職場」にするための具体的な方策が求められる。学校運営協議会で委員より様々な意見をいただき、地域とともに歩むためのヒントを得ることができた。コロナの5類移行後は、コロナ禍に進んだICT、アプリの活用も行いながら様々な取組を進めることができた。今後もコロナ前にすべて戻すのではなく、スクラップアンドビルドで考えていく。40周年記念の取組をきっかけにして学校HPを充実させることができ、地域への発信や理解啓発の推進が図れた。「思考力の育成」をテーマにした研究活動をとおして、系統性のある授業づくりについての検討ができた。今後も学校教育目標の実現を目指す授業づくりを行っていく。研究部の活動や校内の研修等から学び、授業改善が一定進んできているが、今後もすべての教員が専門性のある指導ができるよう、継続して学ぶ必要がある。タブレット端末を使用した授業づくりがさらに進んだ。ICT機器を単に使用するだけでなく、情報活用能力が向上するためのICT機器の使用として、授業づくりを行う必要がある。地域と連動した取組や、外部と関係する取組に積極的にチャレンジし、地域とのつながりが深まった。今後は地域とのつながりを一過性のものとせず、定着させていくことが必要である。	<p>学校経営</p> <ol style="list-style-type: none">地域と連携した教育 地域の関係機関との連携を図り、体験的な学習や職場体験・実習等の機会拡大を図り、児童生徒の力を伸ばす学校運営協議会との連携 学校運営協議会と連携し、特色ある学校づくり、地域とともに歩む学校づくりのための、具体的な方策を検討、実施する。学校からの発信・理解啓発 学校の取組を各メディアに発信することにより、学校や本校の児童生徒のことをより多くの人に知ってもらい、特別支援教育の発展、理解啓発に寄与する。「働き方改革」から「働きがい改革」へ。 「働き方改革」の成果をもとに、時短視点だけでない一歩進んだ「働きがい改革」への意識改革や具体的な取組を検討・実施していく。 <p>教育活動</p> <ol style="list-style-type: none">12年間の系統性と障害特性に応じた指導の充実 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行う。「社会に開かれた教育課程」の実現 地域社会とつながり、連携・協同しながら、児童生徒の力や可能性を積極的に発信し、理解啓発を図る。学校生活やICTを活用した学習指導の充実 学んだことを生かし、新たな価値を生み出しながら自分らしく輝いた生活を送る児童生徒の育成を目指す。スポーツ・芸術文化活動の積極的な推進 児童生徒の可能性や能力を最大限に伸ばするとともに豊かな人間性を育む。